

原発再稼働 NO! 原発なくそう! の思い新たに

3・11福島第一原発事故から11年 なくそテ原発長岡集会開催



カードを掲げて参加者一同「なくそテ原発！」

「まさか原発まで攻撃するとは?!」
一ロシアの侵略への驚きと怒りが渦巻く緊迫した情勢の中、高齢者センター「しなの」での講演会と大手大橋東詰でのスタンディングに、50名を超える人が集い、学び、行動しました。



講演する米山さん

「三つの検証委員会の立ち上げと現状」と題して、衆議院議員で前知事の米山隆一さんが講演。

花角知事と県が「検証委員会」福島原発事故の検証であって、柏崎刈羽原発に関しては求めていない」と繰り返し言っていることに對して、知事として検証委員会を立ち上げた米山隆一さんは「福島原発事故を何のために検証するか」といえば、柏崎刈羽原発にあてはめるといふのは当たり前のこと」ときっぱり。また、「高齢」を理由にした検証委員の不再任や検証総括委員会を開かないのは問題で、県に情報公開請求を行っているが回答が延期されていると述べました。原発の経済性について触れ、「東電福島原発事故に70兆円かかると言われるが、日本の全原発のこれまで40年の収益は80兆円で、経済の面からも原発には問題があるなど語りました。

会場からも活発な意見、質問が

「福島の子どもたちに甲状腺がんが多く見つかったりしているが、原因究明がうやむやになってしまっているのでは?」「自民党王国だが県民は原発要らないと思っっている。何の

ロシアのウクライナ侵略、原発攻撃に抗議します!

新潟県知事選挙に再稼働反対の

片桐奈保美さんが立候補表明



5月12日(木)告示、29日(日)投票の新潟県知事選挙に、脱原発を訴える市民団体「新潟の新しい未来を考える会」会長の片桐奈保美さんが立候補を表明しました。片桐さんは、巻原発、柏崎刈羽原発の計画段階からずっと反対し行動してきました。立候補のきっかけは、ロシアのウクライナ侵攻で原発が攻撃され「安全な原発はない」と思ったことだとし「柏崎刈羽原発は再稼働させない。簡単にはいかないが、廃炉までもっていきたい」と明言しています。再稼働ノーの知事を実現させよう!

ための原発か」「ロシアがウクライナの原発を攻撃。戦争に使われる原発は人類には必要ない」「汚染水は新潟水俣病の教訓からも放出すべきでない」「再稼働するかどうかはどのようなプロセスで判断すべきと考えるか」等の発言について意見交換をしました。

黙祷、写真撮影の後、他地域と連帯してなくそテ原発スタンディングでアピール。県内各地と前橋市合わせて20か所、738人が参加し市民に原発ノーを訴えました。



スタンディングでアピール



会場いっぱい参加者

【避難検証委員会を傍聴して】3月14日に新潟市で開催。「避難と被ばくのシミュレーションの必要性」を巡って議論。柏崎刈羽原発で重大事故が起きた場合、実効性ある避難計画が可能か可能でないのかを検証する上で、避難する住民がどこでどの程度被ばくするかのシミュレーションが不可欠とする意見が相次いだ。これまでも委員が求め続けてきたことだが県は「検証委は福島原発事故の検証であって県の避難計画の実効性は求めない」と繰り返した。「最終的に人々を被ばくさせないで安全に避難させることがこの委員会の原点」と話す委員の言葉の重みを感じた。徹底検証には程遠い県の姿勢だ。(し)

4月の「原発NO!アオーレ前11日行動」は、4月11日(月)16時~16時半です。ご参加を!

原発ゼロ長岡市民ネットニュース
第121号 2022年3月28日発行

連絡先 広井洋子 長岡市寿2-5-15
電話・FAX 0258-24-2870
佐藤 090-4925-3707